

4641

アルプス技研

人が未来-Next Technology Frontier®
Alps
株式会社 アルプス技研

アルプス技研グループの事業内容と成長戦略について

開発・設計の高度技術者集団

● 独立系エンジニア派遣のパイオニア

- 1968年に設計事務所として創業、2019年で51周年
- 横浜市みなとみらいに本社をおき、開発・設計技術者の派遣、技術サポートを提供
- 全国23拠点で全国のメーカーの要望に対応
- 創業50年を機に農業、介護分野を本格化
- 2018年度、2019年度「JPX日経中小型株指数」に選定

● 経営理念は「Heart To Heart」

- アルプス技研の歴史は人材育成の歴史でもある
- 技術力向上、人間力向上のための独自社員教育システムの確立

● 長年に渡る外国人材の育成・採用

- 90年代から外国人材に着目、2000年代から中国、東南アジア中心に技術者を採用
- 2004年には中国の大学と提携、その後もミャンマー、ベトナム等で人材育成・採用を継続

経営資源の再投資

● 成長を支える3つの柱

- 採用: グループ全体で5,000人超、うち外国人材が1割
- 教育: 注目技術に対し自ら企画自ら学ぶ人材が多い
- 営業: キャリアサポーターが丁寧に技術者のキャリアアップをフォロー

● 既存事業の強化・新規事業への挑戦

- AIやIoT、ロボットなどの最先端技術(高単価ゾーン)の開発・設計業務のサービス提供
- 2000年代前半から培った外国人材の育成・採用からフォローまでのノウハウを、農業・介護に活かし日本の生産性向上に貢献

● 中期経営計画 第11次5か年計画

- 50周年を機に第2創業期と位置づけ
- 2021年度(計画)
連結売上高:41,370百万円 営業利益:4,100百万円
経常利益:4,120百万円 当期純利益:2,820百万円
ROE:20%以上

ものづくりを支えるパートナー

● 無期雇用によるハイエンドな技術者派遣

- 派遣元企業との契約形態は、無期雇用型の正社員
- リーマンショック時でも一人もリストラせず、約3,000人(当時)の技術者の雇用を保証

● チーム化推進による好パフォーマンスの提供

- リーダーにはマネジメント習得、未経験者には指導によるスキルアップを図るなど、チーム内で人材が替わっても好パフォーマンスの提供が可能

● 外部環境の変化に合わせ好調領域・顧客に対応可能

- 技術者が最新の技術を習得しているため、時流に合わせ好調領域にシフト可能

● 業界内ポジショニング

- 技術者数: 2014年以降毎年+約10%で増加
- 派遣単価(1H当り): 4,000円超でさらなる伸びしろあり
- 退職率: 業界内最低水準で推移

最高業績更新へ

● 堅調な業績

- 2019年度予想
連結売上高:35,470百万円 営業利益:3,780百万円
経常利益:3,860百万円 当期純利益:2,680百万円

● 配当の基本方針

- 連結ベースで配当性向50%を基本
- 中間配当金は年間配当金の50%を目標
- 業績にかかわらず年間配当10円を維持
- 2019年度期末予想32円 中間実績35円(株式分割前)
- 配当利回り3.4%(2019年12月13日終値1,959円)

● サステナビリティ・ESGの取り組み

- ESGやSDGsの取り組みを積極的に推進。SDGs推進企業として外務省HPに掲載
- ダイバーシティ: 外国人材が安心して生活できるよう日本文化やビジネスマナー研修などきめ細やかなサポートを実施
- バリアフリー: バリアフリープロジェクトに協賛